

## 利用するにあたって

【対象】 障害児（聴覚・言語、知的、発達、肢体不自由）  
※対象学年：0歳児～小学校入学前  
※現在、ろう児・難聴児は全体の100%

【利用定員】1日10名

【利用時間】 平日：授業終了～午後5時30分  
閉所：土日、国民の祝日、お盆休暇、年末年始

【料金】 利用料：お住まいの市区町村にお問い合わせください。  
※参加費：企画時に参加費として実費負担させていただくことがあります。

【利用申込方法】まずはメール・電話・FAXでご相談ください。

### 【児童発達支援を利用するまでの流れ】

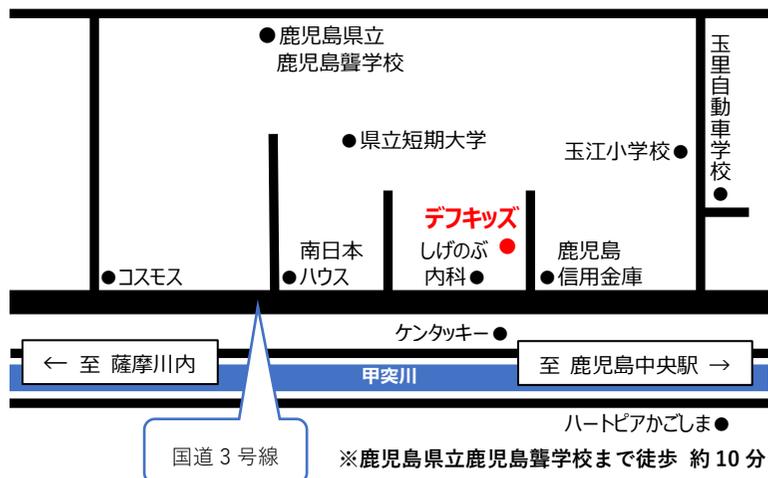
1. 当事業所や市町村の窓口、児童発達支援センターなどへ相談する
2. 施設の見学をする
3. 相談支援事業所と契約し、受給者証の申請をする（審査があります）
4. 受給者証を取得後、当事業所と利用手続きを行う
5. 利用開始

## アクセス・お問い合わせ先

住所：鹿児島県鹿児島市下伊敷1-43-2 コーポ種子田2F  
※当事業所は2階にあります。

メール：deaf-kids@deaf-net.org

電話：099-295-0527 FAX：099-295-0528



# 児童発達支援

# デフキッズ



特定非営利活動法人

NPO デフ Network かごしま

## 利用者の皆様との約束（方針）

### 1 「手話の力」

ろう・難聴スタッフと手話ができるスタッフのもと、手話の力を伸ばします。ろう・難聴スタッフは子ども達のロールモデルにもなり、また視覚的なコミュニケーションを用いることで確実に意思疎通が図れるようにします。同時に、さまざまな活動を通して手話で「分かる」という達成感を積み重ねていきます。

### 2 「考える力」

子どもの自主的な活動において、音声情報を得るために手話通訳などを利用し、自ら考え主体的に社会に参加できるようにします。情報を可視化することで「知る」「分かる」機会を増やし、聞こえる子どもと変わらない情報を得ることによって思考力を高めます。

### 3 「生きる力」

ろう者のアイデンティティ形成と社会性の向上を促します。友達と喜びを分かち合う場所としてはもちろんろう・難聴スタッフが子どもたちにとって将来のロールモデルとして関わりを持ち、多くの成功体験へ導き、達成感を感じることで子どもたちの自己肯定感を高めます。友達を通して仲間を形成し、自分自身や家族以外の他者との繋がりを大切にすることで、豊かに生きる力を育みます。

ろう・難聴当事者ならではの知見や経験からのアドバイス、また幅広いネットワークを活かした支援がデフキッズの最大の強みです。

子どもたちの「手話の力」「考える力」「生きる力」の育成を目指していきます。

## デフキッズの様子を知りたい方はこちら

Instagram : [https://www.instagram.com/deaf\\_kids.kagoshima/](https://www.instagram.com/deaf_kids.kagoshima/)

ホームページ : <http://www.deaf-net.org/>

※NPO デフ Network かごしまのホームページ内にあります



Instagram



HP

## 活動の様子（放課後等デイサービスの例）



ごっこ遊び



おやつ作り



カップインゲーム



知恵の輪



この意味なに？



イメージを表現



錦江湾公園



インドネシアろう者と交流

## 一日の流れ

児童発達支援 デフキッズの1日の流れ	
14:00	送迎(スタッフが学校までお迎えいたします)
14:30	来所・手洗いうがい・トイレ
15:00	おやつタイム (各自でご準備をお願いします)
	始まりの会 (ゲーム・名前呼び) 手話絵本読み聞かせ 活動 (5領域を活用した遊び) 終わりの会
17:00	お迎え (保護者お迎えまで自由遊び) ※放課後等デイサービス・デフキッズ利用者にきょうだいがいるお子さまは家まで送迎いたします(条件あり)

### 【平日】

自由遊びでは子どもたちが自ら遊びを考え、友達と一緒に楽しく過ごします。

・保護者の方の子育てに関する悩みや不安などは、ろうスタッフやろう児の子育て経験のあるスタッフがご相談を承ります。

### 〈支援内容〉

・手話の発達支援 ・社会性をはぐくむ支援 ・個別の発達段階に対応した支援